

フラガール (2006)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 120分
初公開日 2006/09/23
公開情報 シネカノン

【キャッチコピー】

未来をあきらめない

北国を常夏の楽園へ。40年の時を越え語られる奇蹟の実話。

【解説】

炭坑の閉山で活気を失った町の再生を期して計画されたレジャー施設“常磐ハワイアンセンター”（現・スパリゾートハワイアンズ）誕生にまつわる感動秘話を映画化したハートフル・ストーリー。施設の目玉となるフラダンスを教えるため東京から呼び寄せられたダンス教師と地元の炭坑娘たちとの葛藤と心の成長を描く。主演は「子ぎつねヘレン」の松雪泰子、共演に蒼井優、山崎静代。監督は「69 sixty nine」の李相日。3ヵ月の猛特訓を積んだという出演者たち自らが披露する迫真のフラダンス・シーンも見どころ。

昭和40年、福島県いわき市の炭鉱町。時代は石炭から石油へと変わり、閉山が相次ぎ、町は先細りの一途をたどっていた。そこで、起死回生のプロジェクトとして豊富な温泉を利用したレジャー施設“常磐ハワイアンセンター”が計画された。そして、目玉となるフラダンスショーのダンサー募集が地元の少女たちに対して行われた。この町から抜け出すチャンスだと考えた早苗は紀美子を誘って説明会へと向かう。説明会では、セクシーな衣装で踊る姿に、大半の応募者が逃げ出し、残ったのは紀美子と早苗の他には初子と小百合のわずか4人だけだった。そんな中、元SKD（松竹歌劇団）のダンサー平山まどかがフラダンスの教師として東京から招かれる。しかし、とある事情で渋々やって来たまどかは、教える相手がズブの素人と分かり、完全にやる気を失ってしまう…。

【クレジット】

監督	李相日	
製作	李鳳宇 河合洋 細野義朗	
企画	石原仁美	
プロデューサー	石原仁美	
脚本	李相日 羽原大介	
撮影	山本英夫	
美術	種田陽平	
編集	今井剛	
音楽	ジェイク・シマブクロ Jake Shimabukuro	
照明	小野晃	
録音	白取貢	
出演	松雪泰子	平山まどか

豊川悦司	Etsushi Toyokawa	谷川洋二郎
蒼井優		谷川紀美子
山崎静代		熊野小百合
池津祥子		
徳永えり		
三宅弘城		
寺島進		
志賀勝		
大河内浩		
菅原大吉		
山田明郷		
高橋克実		
岸部一徳		吉本紀夫
富司純子		谷川千代